

公園の今後について重要だと思うこと（大人の目）

ゴミの放置をなくすなど、**みんなが気持ちよく使える環境や工夫を検討すべき**

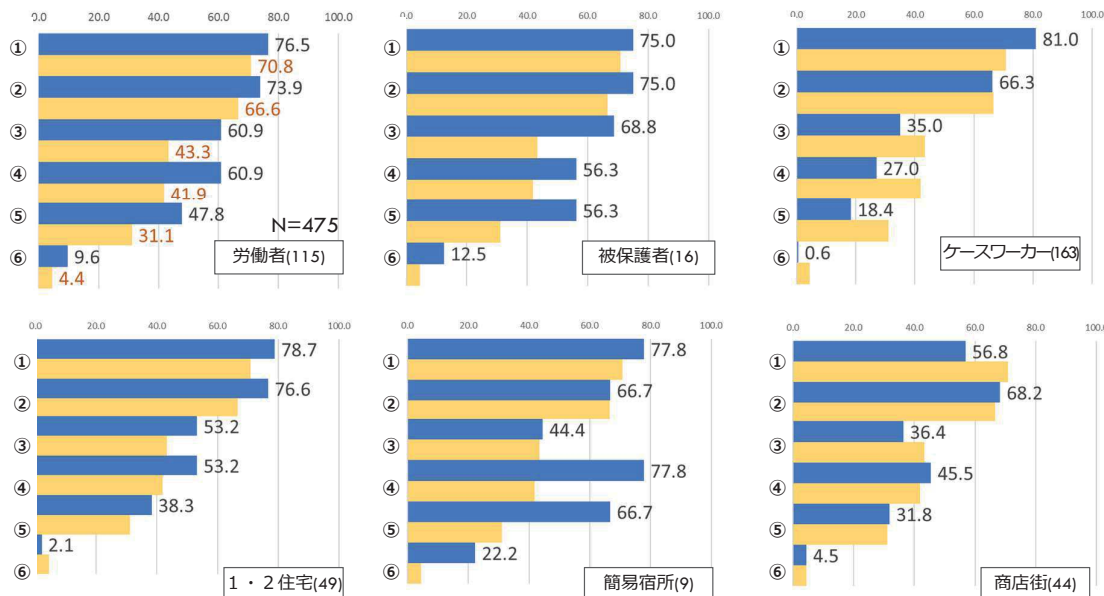
公園は「いざ」という時の緊急避難場所として重要である

公園に起居する人に対しては、強制的に立ち退かせず**野宿しなくてよいサポートが必要**

誰もが使える公園にすべきで、使い方・使い分け・利用時間を工夫すべき

公園によって色んな機能で使い分けられたい

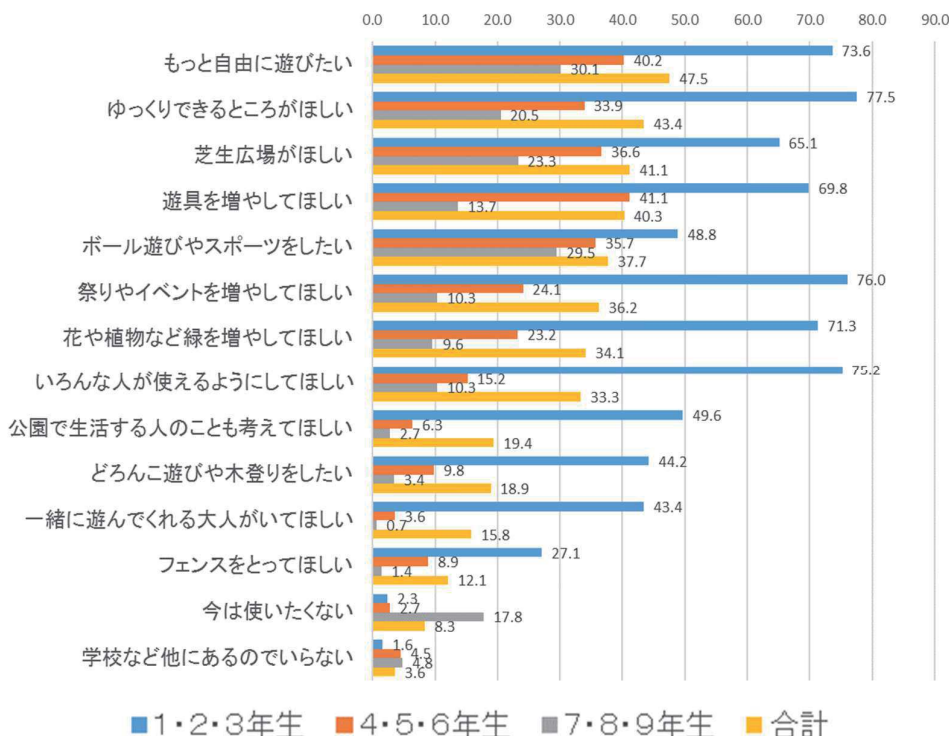
その他



あいりん地域まちづくり会議検討用資料（調査中間報告）【寺川資料】

公園の今後について重要だと思うこと（こどもの目）

- 全体的には、「もっと自由に遊びたい」と思っている子どもが半数を占めて最も多く、「ゆっくりできること」と「芝生広場」や「遊具設置」、「ボール遊びやスポーツ」を求めるものと、「イベント開催」、「緑を増やす」、「いろんな人が使える」公園を望む声が3～4割と比較的高い傾向にある。
- 低学年では、イベント開催と緑を増やすことと同時に、「いろんな人が使えるようにしてほしい」が7割以上と高い割合を占め、「公園で生活する人のことも考えてほしい」と思っている児童が半数を超えている。そのほかにも「どろんこ遊び」や「大人と一緒に遊びたい」と願う児童も4割を超えている。
- 一方、学年が上がるとともに、公園への意識が薄れる傾向（回答数が減少）にある。



新たに本設される労働センターへの意向

- 全体的には、施設を時間によって多用途に有効活用すべきであり、福祉的機能や地域活性化、地域交流を求める割合が半数を超えて高く、「労働者だけのことを考えた利用だけでよい」とする人は、各主体において1～2割に留まっている。
- 労働者では多用途、被保護者と商店街で福祉的利用、町会においては、地域の人との交流が増える場が必要だと考えている人がそれぞれ最も高い割合を占めている。

労働者利用のみの検討でよい

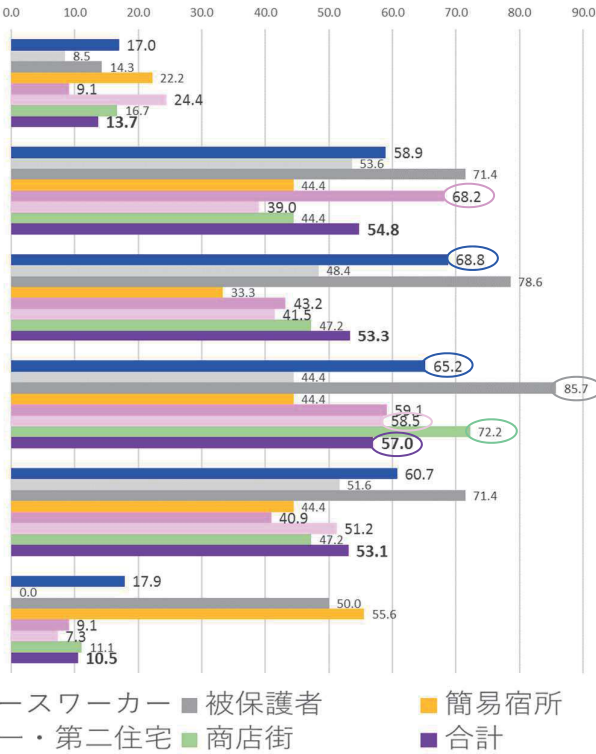
地域コミュニティや地域の人と交流が増えるような場が必要

労働（紹介・相談・技能講習等）で利用しない時間を他の用途で有効につかえるような場が必要

現状の使い方をふまえ、労働機能に加えて福祉的機能も備えるべき

労働施設の機能を充実させながらも、配置については地域活性化につながるよう配慮も必要

その他



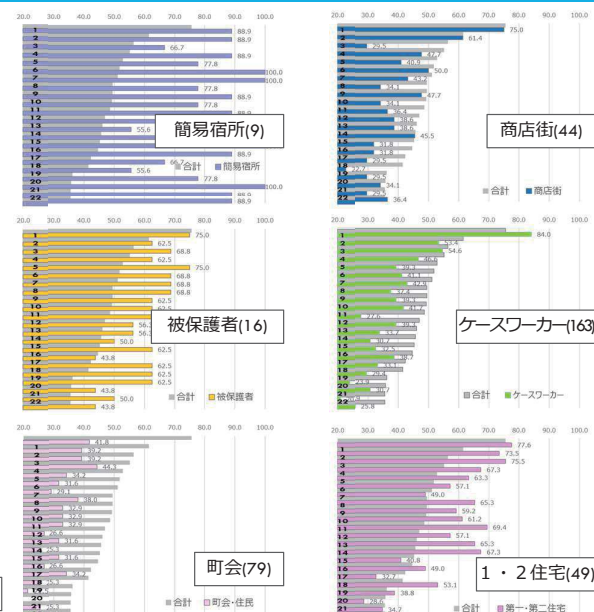
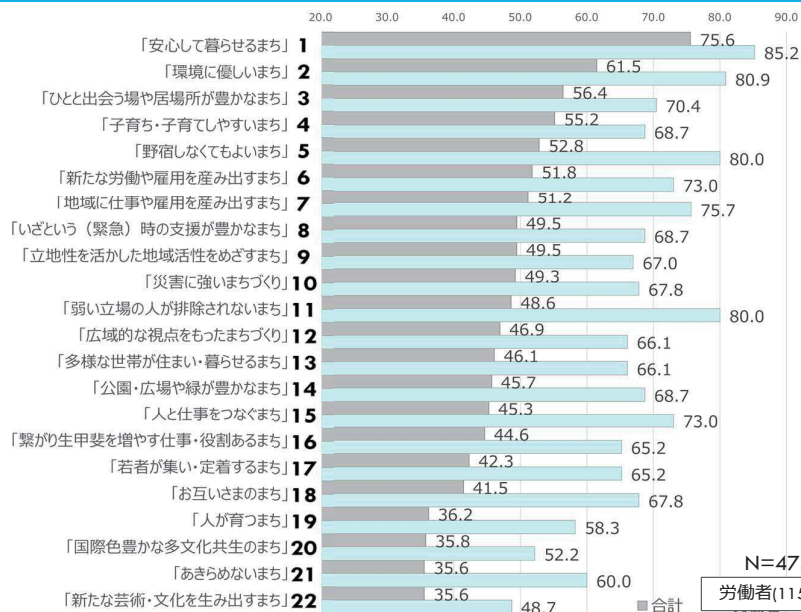
あいりん地域まちづくり会議検討用資料（調査中間報告）【寺川資料】

新たに本設される労働センターへの意向（その他のつぶやき）

A. 町会・住民	付加機能	多世代の利用	・若者や女性など現在対象となっていない人たちも利用できる場になってほしい	
		交流機能	・レクリエーション施設を是非つくってほしい	
	無くなれば良い		・いない	
B. 労働者	付加機能	労働機能	・労働の適性を判断できるようなシステム、窓口施設など(能力測定、仕事のマッチングなど)	
		福祉機能	・めっちゃ高齢化しているので福祉機能は重要	
			・生活保護でも働きたい人がいれば支援する	
		居場所	・ここに来れば大抵のことが解決できる場にしてほしい	
			・本や新聞が読める場、本を寄贈する場、本の交換の場	
	・居場所・休める場所を作ってほしい(1番良いのは、みんなが使用できること)			
	配置・規模について	・建て替え後に居られる場所があればいい		
		・野宿者の居場所		
		教育	・教育目的の場として利用(子ども、大人、どちらとも教育が大事)	
		避難所	・地域の避難場所として使うべき	
考え方		・労働者の数から考えてこんなにスペースはいらない、利用者数に合せて変えた方がいい		
C. 商店街	付加機能	駅前施設として交流スペースがあってもいいが労働施設とは別にしてほしい		
		・労働系の内容は大きくして、土地を縮小した方がいい。小さい施設で充実したサービスを		
		労働者のみでなく、他の人たちのことも考えるべき		
		無くなれば良い	・センターはなくなればよい	
		交流を望まない	・女性や子どもが来てにぎやかになるのはあまり望んでいない	
E. 被保護者	付加機能	その他	・よくわからない	
		配置・規模について	・労働的な機能をこれ以上プラスするのはいかなものか	
		無くなれば良い	・必要ないと思う	
		付加機能	労働機能	・常用雇用のハローワークを入れてほしい
			福祉機能	・高齢者でも楽しめる施設
娯楽系	・映画館、劇場			
居場所	・センターで寝れないように工夫すべき			
広場	・公園や広場を作る			
公共施設	・交番をつくる			
F. 簡易宿所オーナー	付加機能	住宅	・各戸に水回りがあるアパート(65歳以上を対象にしたもの)	
		配置・規模について	・一定規模の労働機能は必要	
		配置・規模について	・労働者に特化するかわりに規模を人数にあった大きさにすべき	

あいりん地域まちづくり会議検討用資料（調査中間報告）【寺川資料】

目指すべき方向・ビジョン

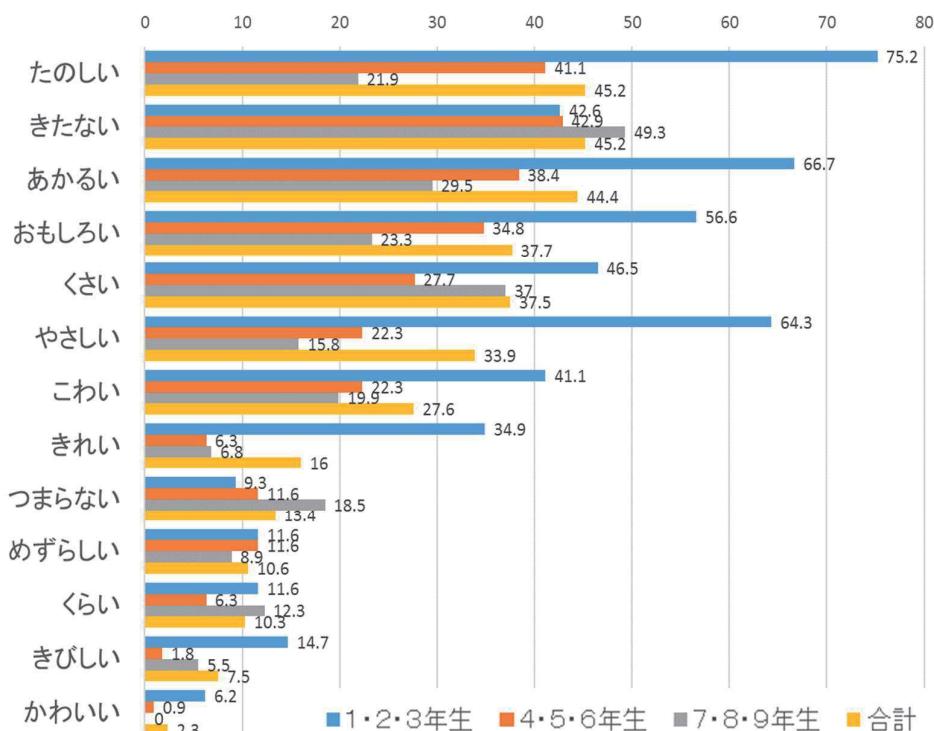


「安心して暮らせるまち」が最も多く75.6%を占め、「環境にやさしい」（61.5%）、孤立しない「人と出会う場や居場所」が豊かなまち（56.4%）、子どもの声が聞こえる「子育て・子育てしやすいまち」（55.2%）がつづく。町会は「子ども」や「若者」への視線、公営住宅居住者と労働者で「緑豊かなまち」や「排除しないお互いさま」の意識が高く、簡易宿所・労働者で「仕事づくり」、被保護者と労働者では「野宿しなくてよいまち」を求める割合が比較的高い。

あいりん地域まちづくり会議検討用資料（調査中間報告）【寺川資料】

まちのイメージ（こどもの目）

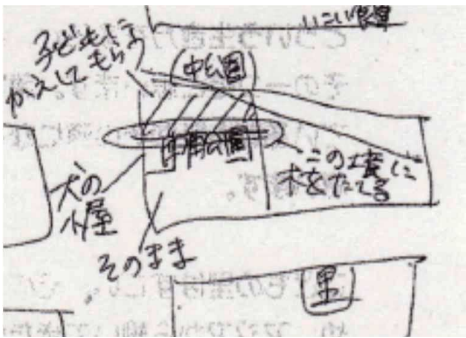
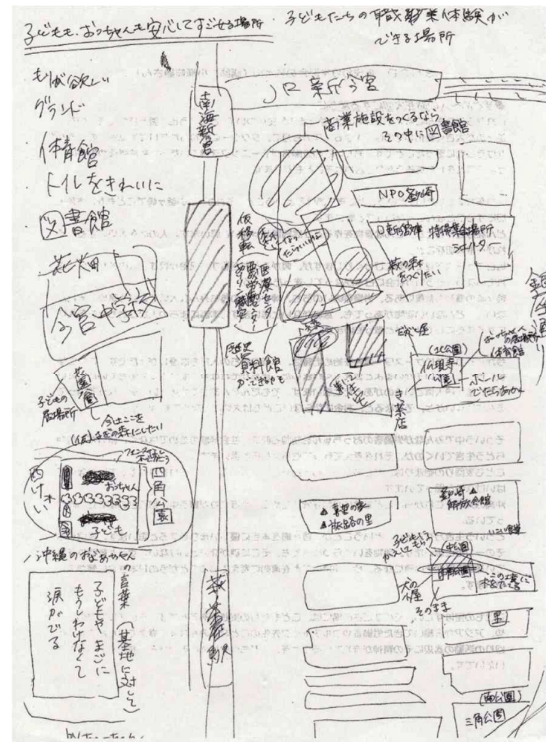
- 全体的には、「あかるい」「たのしい」が4割を超え「おもしろい」「やさしい」が4割前後を占めていることから、まちのイメージは比較的良いものの、「きたない」「くさい」も4割を占めており、まちが汚れていることに関する悪いイメージもある。
- 低学年では「たのしい」「あかるい」「おもしろい」という前向きなイメージが強く、とくに「やさしい」が6割を超えている。
- 一方、学年が上がるにつれて「きたない」「くさい」というネガティブなイメージが前面に出てきている。



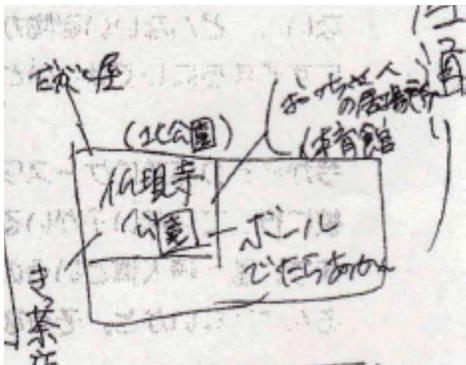
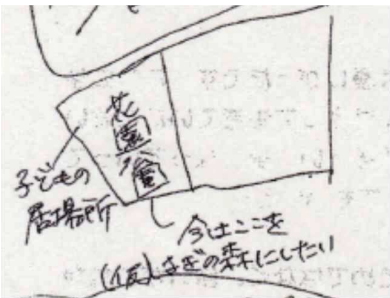
あいりん地域まちづくり会議検討用資料（調査中間報告）【寺川資料】

子どものつぶやき

2018年1月から3月上旬までの土曜日に行われた「こども夜まわり」（主催・こどもの里）の連続学習会でのワークショップで出された意見



子どもたちのイメージ



あいりん地域まちづくり会議検討用資料（調査中間報告）【寺川資料】

その他：センターWSでのつぶやきひろい

2018年5月29日：センターの未来を提案する5.13行動のワークショップで出された意見

- こんなえーとこはない！
- 皆が集まれる場所でよい！（話相手いる）
- このままのセンターが良い。皆が入れる。
- 気楽に相談できる場所がほしい。
- 寝る場所をそのままに！
- 雨が降ったら行くところがない。
- 社会資源、人と出会える。なくなると出会うことができなくなる
- おっちゃんとか昔遊びとかみんなで遊べる
- おっちゃんの居場所と子どもの居場所が欲しい（こども）
- 建て替え中の居場所はどうか？いまいる人は排除されるのか。
- 一年中開けて、交流出来る場所
- 釜の労働者やいろんな人が出会える場所
- 多目的の広い空間
- 今のうちに、壁がなくてだれでも出入りが自由で風通しのよい空間であって欲しい
- 休憩場所が狭くならないで欲しい
- 寝られるような個室が欲しい
- 夜も2階で寝かせて欲しい
- 正月も開けて欲しい
- 雨つゆをしのげる場所として大事
- 生の情報が集まる場所
- 雨の日の炊き出しの場所が無くなる
- 仕事の選択肢が少ない。
- いじわるされる。現場によっては困る。
- いろんな仕事、職種をしたい。年をとると土木、港など体力が心配。
- 免許などの資格を取れる場所
- 生活に困っている友人がいるので、高校生も仕事を探せる場所になってほしい
- 労働者、男女国籍を問わず、仕事についてのハブ機能→生活まで考えるワンストップセンター
- 女性や若い人も仕事を探せるようになって欲しい
- 求人続けて欲しい。新しくなっても仕事が欲しい。
- 建て替えたら、仕事が増えてほしい。
- おっちゃんたちが朝早く起きるのが大変そうだから、もっと近くの現場の仕事が増えたらいい（こども）
- 犯罪歴があるなど、他で職につきづらい人でも働けるように
- 高齢者にも出来る仕事を
- 特掃職に人にも出来る仕事を
- 若い世代も仕事を探せる場所に
- 特掃を増やして欲しい
- 職安に仕事紹介をさせるべき
- 生活のための設備・福利(厚生)
- 住むところはテレビが観られる。ご飯もできる。電気なので火事の心配なし。
- 耐震補強できる。
- 資格をとれる場所があるけれど、無視される。平等にしてほしい。
- ランニング、ウォーキングできるもの！
- ゲートボールをする場所を！
- 食堂安い！（同様意見1件）
- 新センターでお年寄りも食べられるものがある食堂！（同様意見2件）
- 売店がなくなるの不安です・・・
- やさしく、うまく、安く！食堂
- 年金受け取っている人のことを考えて
- みんなが安全、安心
- 生活保護をもらっても仕事を！
- 建物を大きく広く
- 寝る場所ほしい
- 清潔大事！
- 免許などの資格を取れる場所
- おっちゃんと昔遊びとかみんなで遊べる
- 労働者、男女国籍を問わず、仕事についてのハブ機能→生活まで考えるワンストップ
- 地域に老人ホームが欲しい
- センターを大事にして欲しい
- いまの機能、窓口業務の隙間を埋めるような機能を持って欲しい
- 失業して、シェルターや野宿している元野宿者の願い。1ヶ月13回以上の特別清掃があれば生活できるので、西成以外の周辺の区にも広げて特掃で働いて町を美しくすることに力を使いたい
- 国が政策としてこのまちとセンターを作ったのだから、最後まで日雇い労働者に対して責任を持って欲しい。途中で放り出すようなことはしないで欲しい。
- センターは今まで通り変えないで
- 街全体のランドデザインからセンターの役割を考えるべき
- 来年3月で閉鎖された時にセンター周りで野宿している人たちはどうなるのか、事前に解決して困らないようにして欲しい
- この集まりが行政のアリバイ作りに利用されるのではないのか
- 橋下の再開発の流れに組み込まれている
- センターを文化財として残して欲しい
- 行政の人をこの集まりに呼んで欲しい。
- 市営住宅、医療センターのみ移してあとは耐震補強だけすれば良い
- お金をかけすぎず、違うことに使ったらええ。まだ（センターは）50年はもつはす。
- センター壊すとお金がかかる。公の言い分（耐震補強）も分かる。でもこんな大きな建物壊す必要はない。
- 仮移転は正しいのか
- このまま置いておいて欲しい
- 耐震工事だけで十分なのではないか
- 歴史的文化遺産としてこのまま保存して

あいりん地域まちづくり会議検討用資料（調査中間報告）【寺川資料】